

さくら会病院でできる検査

胃カメラ

大腸ファイバー検査



胃カメラ（上部消化管内視鏡検査）

Q、胃カメラってどんな検査？

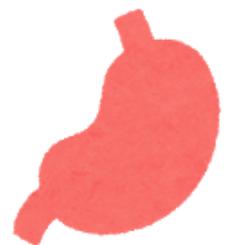
A、口または鼻から、先端に小型 CCD カメラのついた
柔らかいカメラ（内視鏡）を挿入します。



Q、どこを見るの？ 痛くないの？

A、食道、胃、十二指腸（約半分）を見ることができます。
最近、喉の病変もよく分かるようになってきました。
消化管には痛みを感じる神経がありませんので、全く痛く
ありません。

『生検』といって、表面の一部を採取することがありますが
その場合も痛みを感じることはありません。



Q、でも…辛いついて聞くけど？

A、喉から食道にカメラ（内視鏡）が入るときに
通りにくかったり吐き気が出たりすることがあります。
辛いこともあるので、ぼんやりと眠くなるお薬（鎮静剤）
を使うこともあり、その方が消化管の表面がよく見える
こともあります。

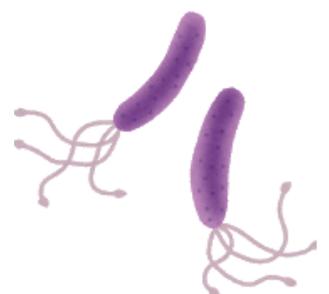


Q、バリウム検査を受けていれば胃カメラは必要ないのでは？

A、胃カメラの検査を受けることで、バリウム検査では分からないような早期の
胃がんを発見できることがあります。
胃カメラの方がよく分かる病気として逆流性食道炎などいくつかあり
ヘリコバクター・ピロリ菌がいるかどうか、胃カメラの方がよく分かります。

Q、ピロリ菌って悪い菌？

A、胃潰瘍や十二指腸潰瘍の原因となります。
感染期間が長くなれば、胃がんを引き起こすこともあり
70 歳以上の日本人の多くが感染しているといわれます。



Q、ピロリ菌ってどうやって調べるの？

A、今現在、ピロリ菌がいるかどうかを調べるだけなら、便や血液でも調べられますが、以前に感染していたことがあるかどうかは胃カメラでないと分かりません。

Q、ピロリ菌って退治できるの？

A、飲み薬（朝晩、7日間内服）で退治することができます。

Q、以前にピロリ菌を退治していたら、もう胃がんにはならない？

A、ピロリ菌が消えた後でも、以前にピロリ菌がいたせいで胃がんになりやすいとも言われています。

ピロリ菌を退治したことのある方こそ、定期的に胃カメラ検査を受けることをお勧めします。



もし仮に胃がんが見つかったとしても
もう年だから手術なんて受けたくないし
胃カメラはやめようかな・・・

ちょっと待ってください！！

早期胃がんで見つかった場合は、手術で取らなくても、内視鏡治療（胃カメラでの治療）が出来るようになりました。

高齢の方や、基礎疾患のある方こそ手術では負担が大きいので定期的に胃カメラ検査を受けて早期発見することをお勧めします。

胸やけがする



すっぱいものがこみ上がる

吐き気が続く



喉のつかえがある

体重が減っている



咳が続く



口の中がいつも苦い

食欲がない



すぐにお腹がいっぱいになる

便が黒っぽい
貧血気味

起床時に胃がムカムカする

みぞおちやお腹が痛い



上記の症状があれば、胃潰瘍・十二指腸潰瘍
逆流性食道炎・消化管出血・食道裂孔ヘルニア
胃食道静脈瘤・食道がん・胃がんなどの病気かもしれ
ませんので、当てはまるものがあれば
上部内視鏡検査をお勧め致します。



大腸カメラ（下部消化管内視鏡検査）

Q、大腸カメラってどんな検査？

A、おしり（肛門）から、先端に小型 CCD カメラのついた
柔らかいカメラ（内視鏡）を挿入します。



Q、どこをみるの？ 痛くないの？

A、小腸の出口から大腸（結腸と直腸）までです。
肛門の内側も見るができます。
消化管には痛みを感じる神経がありませんが
カメラ（内視鏡）で引き伸ばされることで痛みを感じる場合があります。
特に、お腹の手術を過去に受けたことがある方は『癒着（ゆちゃく）』
していて痛みを感じることもあります。

Q、かなり辛いつて聞いたけど？

A、胃カメラと違って、事前に腸の中を空っぽにしておく必要があります。
下剤をたくさん飲んで頂く必要があります。
下剤を飲んでから病院に来るのが大変な方は、入院して検査を受けて頂く
こともできます。
また、ぼんやりと眠くなるお薬（鎮静剤）を使うこともあり、その方が
消化管の表面がよく見えることもあります。

Q、便潜血の検査を受けているから大腸カメラを受けなくても大丈夫では？

A、便潜血検査は簡単な代わりに、がんを見つけにくいことが知られています。
大腸がんの早期発見の為には大腸カメラを受けることをお勧めします。

Q、ポリープが見つかったらどうするの？

A、1 cm よりも小さい良性のポリープであれば、検査時に
内視鏡で切除することが殆どです。
ポリープを取った後は、帰宅することも入院することも
両方可能です。
大きなポリープや悪性を疑うポリープ（早期大腸がん）の場合は
専門病院に紹介させていただきます。



以下に当てはまるものがあれば
下部内視鏡検査をお勧め致します。



☘ 睡眠不足など、不規則な日常を送っている。

☘ 赤っぽい便が続いていて、貧血気味である。

☘ 最近、急に食欲がなくなった。

☘ 便が細く、残便感がある。

☘ 便に血液が付いている。

☘ 下痢や便秘を繰り返す。

☘ がん家系である。

☘ 肉食中心の食事を好む。



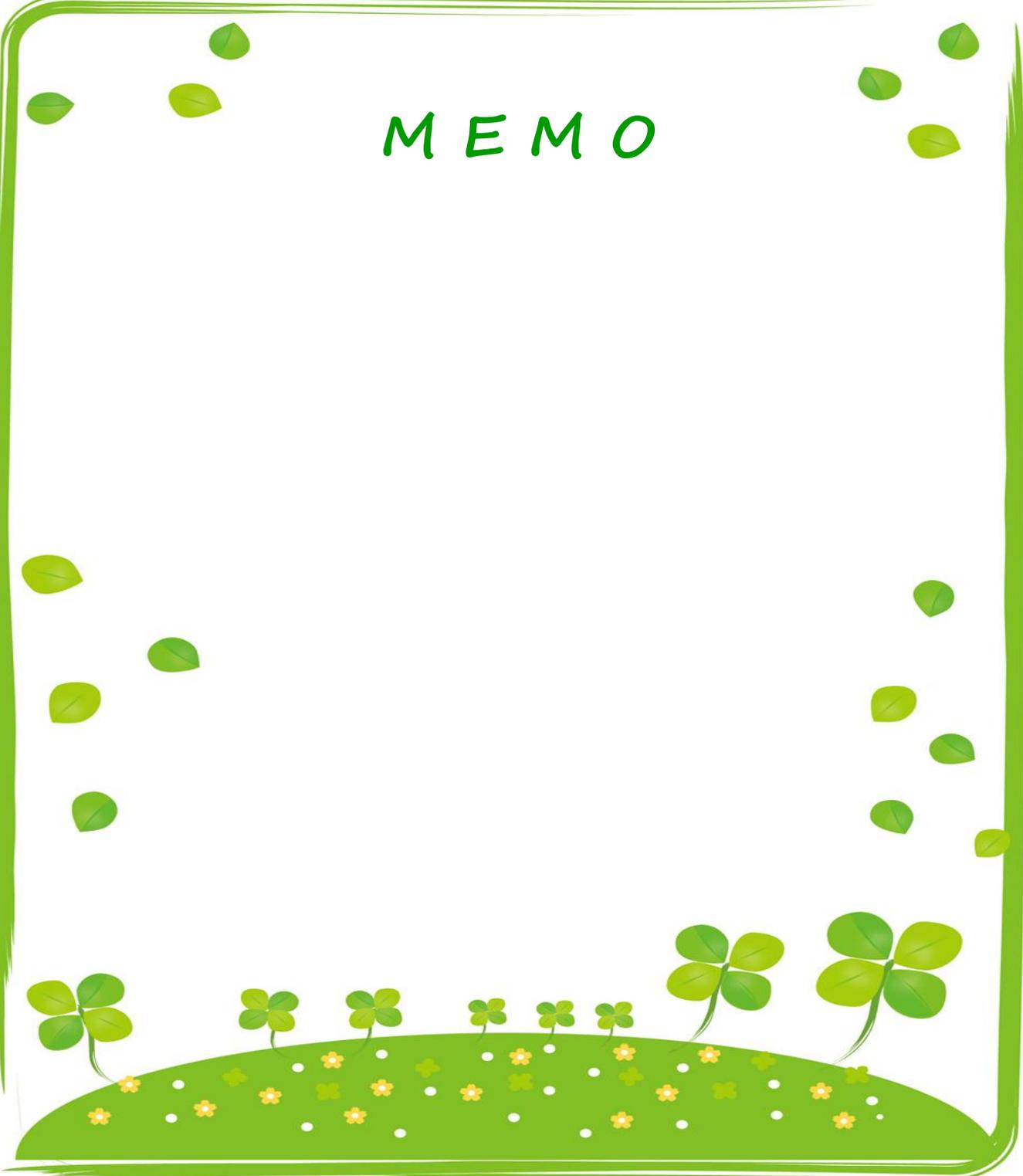
さくら会病院では、消化管内視鏡指導医・専門医による
上部・下部消化管内視鏡検査（胃カメラ・大腸ファイバー検査）を実施
しています。

男性医師 2 名、女性医師 1 名で月曜日から金曜日まで対応しております。
異性の医師に対しての恥ずかしさや抵抗感から内視鏡検査を躊躇（ちゅう
ちょ）されることもあるかと思いますので、担当医はご希望に添えるよう
に致します。

胃がんや大腸がんなどを
早期に発見して治療に繋げる
ことを目的としています。



MEMO



費用は保険適応となりますが、はじめに医師の診察を受けて頂いてからの検査となりますのでご了承ください。

検査をご希望の方は

さくら会病院（代表：072-366-5757）

までお問い合わせください。



社会医療法人 さくら会

さくら会病院

〒589-0011

大阪府大阪狭山市半田 5 丁目 2610-1

TEL 072-366-5757

FAX 072-367-2808